

## 豊かな暮らしを支える税

練馬区立北町中学校3年 橘川 友輔

あるバラエティー番組を見ていたときのことだ。世界の幸福度ランキング一位の国としてデンマークが紹介されていた。この国の消費税は二五%、所得税が四五から六五%で、日本と比べて非常に高い。一方、医療費が無料で、出産する女性に対する保障が手厚い。衣服やベビーカーなどのベビーグッズを無料で支給する制度も充実している。教育費は基本的に大学まで無料だ。税金がとても高いのにもかかわらず、豊かな暮らしを送れるので、幸福度が高いのも不思議ではないと感心した。

私は今、中学三年生で、来年には高校を受験する。都立高校も私立高校も国や都の補助があり、授業料が実質無料になる。四歳上の兄が私立高校に入学した年にできた制度で、お金がかかると思っていた三年間、とても助かったと母が言っていた。

今年になり、学校から「中学三年生は英検の検定料一回分が無料になる」というプリントが配られた。私はちょうど英検に向けて勉強していたので、こんな制度があるのかと少し驚いた。クラスでもこの制度を利用している人は多い。このお金はどこから出ているのだろうか。担当の練馬区教育指導課管理係に電話で問い合わせしてみた。

私「学校で配られたプリントで中学三年生の英検の検定料が一人につき一回無料になると知りました。なぜそのようなことができるのですか。そのお金はどこから出ているのですか。」

担当者「なぜ、この件について興味を持ったのですか。」

私「私は中学三年生なので、今回、三級を受け、合格したら準二級を受けようと思っています。一回約六千円かかるので無料なのはとても有難いと思い、興味を持ちました。」

担当者「区の教育のための予算があり、税金の一部を使っています。中学生のみなさんが英語に興味や関心を持ち、英語の実力を高めてほしいので、この制度ができました。」

調べたところ、昨年度からできた区の新しい制度だった。板橋区ではまだそのような制度はなく、北区では実施回が限られているが英検、漢検、数検で、小学六年生と中学一年生から三年生を対象に補助している。練馬区では、教育費の中の教育指導費に「国際理解教育推進経費」という項目があり「英語力向上支援経費」によって検定料を補助していることもわかった。区の主な財源である区民税などに支えられて新しい助成制度ができ、私たちの学びが応援されているのだ。

日本の消費税は昨年十月に八%から十%に上がった。国民一人当たり一円集めると一億円を超える。国民一人一人から集めた大切な税金をよりきめ細かに使い、様々な場面で私たちの生活を支え、豊かさと幸福を誰もが実感できる社会を目指していきたい。